

第5回 (H30.5)

男と女

その昔、こんなタイトルのフランス映画がありました。映画の話ではありません。公民館の利用者のことです。

昨年度の川津公民館の利用者は、ざっと3万6千人にのぼり、一日平均百人がこの建物を利用したことになります。事務室から拝見していると、その大半が女性であることに気づきます。

正確な統計はないのですが、その比率は、女8に対し男2といったところです。来館女性の大部分は、人生の先輩である「お姉様」方で、これがまたすこぶるお元気なのです。大声で語り合い、笑いながら公民館を後にされる姿を見ていると、女性の活力は凄いなと感じ入る日々です。

六十歳を過ぎると、退職した男性の多くが、どんどん生氣を失っていくのを尻目に、

子育てを終えた女性軍は、何かから解放されたかのように

はうっ

突如澆刺とし輝きを増すのです。公民館はその輝きの、身近なステージなのかもしれません。

「公民館なしで今の私は考えられない」「公民館で医者いらず」。ある先輩たちの嬉しい言葉です。世の男性諸氏よ、しよせん女性にはかなわないまでも、もう少し元気を出してみよう！